

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Cetuximab療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2012年8月4日
疾患名	大腸癌		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	7日
診療科名	外科				実施回数	/回
登録医師名	岩川 和秀					
適応	大腸癌					

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	レスタミンコーワ錠10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液 デキサート注射液 6.6mg	100 1	mL 瓶	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	生理食塩液 アーピタックス注射液	300 400	mL mg/m2	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2回目以降 250mg/m ² を60minで投与 2回目は生理食塩液250mLに混注 (予備容量: 140mL) ※濃度0.83~4mg/mLになるよう調製する。 7-ヒ ック投与終了後、1時間は経過観察すること。 2回目以降は経過観察を省略可能
5																	

備考欄

--

文献

--

減量・中止基準

<Cetuximabの減量基準>
Grade3以上の皮膚障害が現れた場合

Grade3以上の皮膚障害の発現回数	本剤の投与	本剤投与後の状態	本剤の用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目発現時	投与中止	-	-